

わかすぎ

vol.148 2022.6



公益財団法人
三重子どもわかもの育成財団
三重県立みえこどもの城指定管理者

〒515-0054
三重県松阪市立野町1291
中部台運動公園内
TEL0598-23-7735 FAX0598-23-7792
ホームページ <https://www.mie-cc.or.jp>



財団のシンボルマーク

地域社会の大きな枝葉が、子どもや若者や家族を温かく包み込むように支えるマークとなっています。中心の円の三色はそれぞれ黄色は「子ども」、橙色は「若者」、青色は「家族」を表しており、地域社会とともに育成支援をしていこうという当財団の思いを表しています。

中学生のメッセージ2021



作文第2次審査会の様子

本年度の中学生のメッセージは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月28日(土) BANKYO 文化会館(多気町民文化会館)で予定していた発表会を中止し、後日書面審査を行いました。

県内79の中学校から10,181点にのぼる多くの作文の応募があり、その中から最終審査を経て発表(予定)者14名が選出されました。

作文のテーマも多岐にわたり、参加者がそれぞれのテーマについて考える良い機会となりました。

また、三重県立みえこどもの城では松阪地区の中学生によるデザイン画の優秀作品を展示し、来館者に見ていただく機会を設けました。

令和4年度は、紀北地区(尾鷲市・紀北町)で開催します。

中学生のメッセージ2021受賞者一覧



最優秀賞

Be yourself

パルマ カズマ さん 津市立南郊中学校 2年



優秀賞

願い

小栗須 柚花 さん 紀宝町立矢洲中学校 3年

見えない心

倉田 芽依 さん 津市立朝陽中学校 3年

伝える、伝わるということ

林 あむ さん 伊賀市立上野南中学校 3年



優良賞

将来の夢とそのためのスタートラインを踏むために

疇地 智太 さん 紀北町立潮南中学校 3年

夢をあきらめない

伊藤 愛菜 さん 鈴鹿市立平田野中学校 3年

男女平等な社会へ

若垣 寛世 さん 名張市立桔梗が丘中学校 3年

私が考えるガイドヘルプ

上平 紫央里 さん 四日市市立富田中学校 3年

人間の基本ソフトウェア

高田 爽良 さん 津市立橋北中学校 3年

お母さんへ

谷口 美優 さん 松阪市立鎌田中学校 3年

命を「いただきます」

中川 茉美 さん 多気町立勢和中学校 1年

自分の行動に責任を

西田 響子 さん 紀北町立赤羽中学校 3年

私のいい加減哲学

森 あす実 さん 国立大学法人三重大学教育学部附属中学校 3年

「便利なもの」について考える

安田 快生 さん 多気町立勢和中学校 3年

ご協力いただいた企業・団体様 (※五十音順、敬称略)

株式会社アーステックTAGAWA、伊賀ふるさと農業協同組合、イセット株式会社、上野電工株式会社、NDS株式会社三重支店、大松信久司法書士事務所
 有限会社岡井博進堂、岡三証券株式会社松阪支店、株式会社かんぼ生命保険三重支店、株式会社ぎゅーとら、グッディ、桑名三重信用金庫
 コスモスベリーズ松阪店、株式会社三十三銀行、JAバンク三重、瀬古食品有限会社、株式会社ぜにや、総合保険の有限会社丸山、多気郡農業協同組合
 竹輝銅庵JSJT.CO.,LTD.、株式会社、東海印刷株式会社、東邦液化ガス株式会社松阪営業所、有限会社トータルインテリアタグチ、ナカセ損害保険事務所
 日産プリンス三重販売株式会社松阪三雲店、株式会社日新、野村証券株式会社津支店、パイロットインキ株式会社、万協製菓株式会社、株式会社百五銀行
 有限会社プラスサポート、公益社団法人松阪市シルバー人材センター、松阪中央ライオンズクラブ、株式会社松阪電子計算センター
 松阪花しょうぶライオンズクラブ、松阪ライオンズクラブ、有限会社松本水道、公益社団法人三重県医師会、公益社団法人三重県歯科医師会
 特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会、一般社団法人三重県薬剤師会、三重交通株式会社、三重コニックス株式会社、株式会社水谷住建、南建設有限会社
 株式会社みらい電力、有限会社山室石油、Rethink PROJECT、理想科学工業株式会社、株式会社リンクフジカワ



受賞者のコメント

この主張を自分に自信が無い人や、自分が嫌いな人、何かを見失っている人に届けたいです。私は、周りにいる人たちの温かい気持ちから元気をもらい、自分らしくありのままにいられる幸せを実感することができました。

最優秀賞のパルマさんの作文は、財団ホームページ (<http://www.mie-cc.or.jp/ikuseihp>)に掲載しています。

デザイン画

デザイン画最優秀賞 「自分なりのせいっぱい」 松阪市立久保中学校3年 若園 萌衣さん

デザイン画協力中学校 松阪市立久保中学校、松阪市立中部中学校、松阪市立大江中学校

松阪地区の中学生を対象にデザイン画を募集し、三重県立みえこどもの城でデザイン画入賞作品展を開催しました。



デザイン画審査会で入賞作品を選出



みえこどもの城3階 回廊での展示



デザイン画最優秀賞作品

審査委員

※敬称略、順不同

審査委員長 国立大学法人三重大学 教育学部長 伊藤 信成

審査委員 三重テレビ放送株式会社 常務取締役 間野 丈夫、松阪市教育委員会 教育長 中田 雅喜
大台町教育委員会 教育長 森 亨、三重県小中学校長会 幹事 (伊勢市立港中学校 校長) 金森 晃生
三重県PTA連合会 専務理事 北川 友和、三重県私学協会 (セントヨゼフ女子学園中学校 教諭) 垣内 麻祐子
三重県教職員組合 中央執行副委員長 小林 美奈子、三重県子ども・福祉部長 中山 恵里子
公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 副理事長 水元 正

令和3年度 公益財団法人三重こどもわかもの育成財団表彰

子ども若者の育成支援にご尽力いただいた方々を表彰しています。本年度は、個人の部(青少年)1名、(青少年指導者)4名の方の表彰を行いました。受賞者の皆さまには、今後益々のご活躍を期待します。おめでとうございます。

受賞者紹介 (順不同・敬称略)

個人の部 (青少年)

鈴鹿市 **平子 雅喜**

長年、三重県スポーツ少年団リーダー会の役員として牽引してきた。今年度からは顧問として助言を行うとともに、新しいリーダーの育成に講師として尽力している。また、東海ブロックスポーツ少年大会での活躍や日本スポーツ少年団シニアリーダーズスクールで、運営スタッフを3年間務め、青少年の健全育成に尽力している。

個人の部 (青少年指導者)

いなべ市 **二井 春樹**

青少年健全育成の活動として、員弁地区での推進委員会や長期休み時のパトロールなど積極的に参加して、地域の安全安心に貢献している。また、イベントの企画運営に長年携っている。近年は員弁地区支部長として本部事業にも関わり、事業を推進するなどその活動は顕著である。

いなべ市 **三輪 清一**

いなべ市の合併当初から地区推進委員として青少年事業に関わり、地域の中での人と人とのつながりのできる事業に積極的に関わり、様々なアイデアや前向きな思いを寄せて推進した。また、いなべ市青少年育成市民会議の理事長として、事業の見直しや新しい事業の企画を提案するなどその活動は顕著である。

玉城町 **見並 文美**

玉城町青少年を育てる会の役員を務め、育成部の連携組織である「たまき演劇愛好会」の結成から関わりを持っている。現在は、たまき演劇愛好会の会長として、世代を超えての交流を促進し、地域を元気にする活動に取り組んでいる。演劇公演を通して、青少年の健全育成を図るとともに、町民の間に温かいふれあいの輪を広げる地域づくりに貢献している。

尾鷲市 **山口 拓衛**

平成18年より尾鷲市海洋少年団の指導員として、操船技術や手旗信号の指導を通じて団員たちの健全育成に尽力してきた。また、尾鷲市青少年育成市民会議の代議員、運営委員を歴任し、現在は、本部役員(会計)として地域間交流行事等の活動に携わっている。青少年の健全育成・非行防止活動になくってはならない存在として多大な貢献を続けており、現在も活躍されている。



表彰式の記念撮影の様子

活動紹介

県内の各青少年育成市町民会議では、青少年の健全育成を目的とし、様々な活動をしています。今回は4つの市町をご紹介します。



南勢志摩支部 鳥羽市青少年育成市民会議

鳥羽市青少年育成市民会議は8地区の育成会から構成されており、それぞれの地域で子どもたちの育成活動を行っています。また、本部が中心となって行う活動として、「スターウォッチング」、「凧作り教室」、「新春凧あげ大会」に取り組んでいます。スターウォッチングや凧作り教室は、本部だけでなく、希望する団体へ出張して開催しています。

それぞれの団体で作製した凧を、新春凧あげ大会で持ち寄り、一斉に凧をあげるイベントは、今年で第20回を迎え、毎年多くのメディアにも取りあげられ、鳥羽の正月の風物詩として定着しています。このほか海に面した鳥羽ならではの事業として「カヌー教室」を計画しています。天候に左右され、なかなか開催が難しいのですが、地域の方とふれあい、海を身近に感じることで、鳥羽の魅力を再発見してもらえればと思っています。

地域の宝である「子どもたち」との関わりを深めながら、地域の絆を育む社会づくりを目指しています。



人と人が手を携えている模様が伊賀忍者と手裏剣をも表現したシンボルマーク



伊賀支部 伊賀市青少年育成市民会議

伊賀市青少年育成市民会議は、平成16年の市町村合併の際に「伊賀市青少年育成市民連絡会議」として発足し、今年度で18年目を迎えます。これまで合併前6市町村民会議での活動がメインでしたが、伊賀市として一体となった青少年健全育成をより推進するため、令和4年3月23日に臨時総会を開催し、組織の改編および名称変更をしました。

昨年は、団体の存在や活動を広く市民の方に知っていただき、より身近に感じていただけるようにと、団体のシンボルマークを募集し、138点の応募作品の中から最優秀作品をシンボルマークとして採用しました。

また、毎年「輝け！いがっ子フォトコンテスト」を伊賀市教育委員会と共同で開催しており、今年度で15回目を迎えます。

フォトコンテストは、伊賀市が子育てや子ども健全育成条例の指針とするために定めた「輝け！いがっ子憲章」に基づき、家庭・学校・地域・企業と連携した、地域でいがっ子を見守り育てていく取り組みの一環として開催しています。巡回展示を行い、地域の方にいがっ子の姿をみていただくことにより、青少年と地域の大人をつなぐ一助になればと考えています。

今後も関係団体との連携を深め、子どもたちに身近な団体として、伊賀市の青少年健全育成のための取組を推進していきます。





紀北支部

尾鷲市青少年育成市民会議

尾鷲市青少年育成市民会議は、青少年の健全な育成を図ることを目的として昭和52年から活動を続けています。現在は大きく二つの行事を中心に取り組んでいるところです。

一つは、こどもわかもの育成支援のための支部研修会として紀北町青少年育成協議会とともに「少年の主張」紀北地区大会を毎年開催しています。地元の中学校の理解と協力のもと活動が続けられていることを嬉しく思っています。生徒たちの率直な意見や思いにいつも感心させられます。

もう一つは、地元の小学生を中心に活動を進めている地域間交流行事です。最近では『木と遊ぼう!』をテーマにし、尾鷲ヒノキを使ったイス作りとみえこどもの城と協働で実施するカプラ遊びで大変盛りあがっています。生き生きとした子どもたちの姿を見るたびに、この取り組みを続けてきて良かったと改めて感じています。子どもたち同士はもちろんですが、地域の大人の方達との交流も微笑ましいものがあり、これからも大切にしていきたい行事であると思っています。



紀南支部

御浜町青少年育成町民会議

御浜町青少年育成町民会議は町内5つの地区育成会で構成され、清掃活動や夏休みの学習サポート教室、夜回りパトロールなどを実施しており、各地区で地域の子どものために活動を行っています。

また、こどもわかもの育成支援のための支部研修会として熊野市、紀宝町と連携し、3市町で構成される紀南地区青少年育成市町民会議連絡協議会の事業として、「紀南地区育成交流会 ～こどもたちの想いを聴こう!～」を毎年開催しています。

この交流会では、紀南地区の中学生が未来に向けて考えていること、日常生活や学校生活の中でチャレンジしていることや感じていること等の主張発表を行い、自分の生き方や社会との関わりについて考える機会とするとともに、視聴する地域住民等が青少年に対する理解、関心を深めることを目的としています。新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は開催が中止となりましたが、令和3年度は無事開催することができ、地元中学生の熱い想いをたくさんの方に聴いてもらうことができました。

今後も青少年の健全な育成のため、時代の変化に対応しながら様々な活動に取り組んでいきたいと考えています。





みえこどもの城 ドームシアター プラネタリウム リニューアルオープン!

令和4年4月23日(土) みえこどもの城ドームシアタープラネタリウムが、機器を一新し、より美しい星空を再現できる施設に生まれ変わりました。

みえこどもの城のプラネタリウムドームは県内最大の直径22m傾斜スクリーン。最新機器により、奥行きのあるキレイな星空と迫力のある映像を楽しめるほか、4色の鮮やかな座席がランダムに配置されワクワクする空間になりました。小さなお子さま連れのご家族向けに親子シートを設置したほか、ホワイエには授乳室とベビーカー置場も新設しました。

また、リニューアルした座席、床、手すり等には抗菌・抗ウイルスコーティングを施し、より「安心・安全」にご利用いただけます。皆さまのご来館をお待ちしています!

☆リニューアル 4つのイチ押しポイント☆

point 1 約1億個の星が輝く星空を満喫

より本物に近い星空の再現にこだわり、株式会社五藤光学研究所の最新光学式投影機“ケイロンⅢ”を導入しました。約1億個の微光星で再現される天の川や約300個の明るい恒星ひとつひとつの固有の色を再現するなど、自然で美しい星空を満喫できます。

全天周デジタル映像システム「バーチャリウムⅡ R7」は4K解像度の高精細な映像を映し出し、地球を飛び出して、見たことのない遥か彼方の銀河の果てまでをお楽しみいただけます。

また、日食や月食、オーロラなどの天文現象の再現も可能になりました。



point 2 ドームの入り口ホワイエ

深い青に包まれたホワイエはそこにいただけで心が落ち着ける空間に生まれ変わりました。鍵がかかる個室の授乳室も新設され、授乳やおむつ替えも落ち着いて行っていただけます。

車いす階段昇降機も設置し、車いすのまま、星が見やすい席まで上がることが可能になりました。



point 3 **カラフルシートにワクワク♪**

ドームに入ると、4色の色鮮やかな座席がお迎えます。ほとんどの座席がリクライニング仕様になっており、座席幅だけでなく前後左右の間隔も広くなり、大人もリラックスし観覧していただけます。また、座席や手すりには抗菌・抗ウイルスコーティングを施しました。昨今の感染症への対策を強化し、「安心・安全」にご利用いただけます。



point 4 **小さなお子さま連れのご家族も安心、親子シート**

ベンチシートタイプで仕切りがなく、小さなお子さまと一緒に座りいただけます。暗いところが少し怖くてもおうちの人と一緒に大丈夫！そんなお子さま連れのご家族におすすめです☆



絶賛上映中!

リニューアルを記念したオリジナルプラネタリウム番組も制作!

三重県の自然をテーマに、クイズを交えながら水の大切さや自然の豊かさを紹介します。プラネタリウムドームいっぱい三重の魅力を感じましょう! プラネタリウムスタッフによる星空案内もあります。

4月21日(木) リニューアルセレモニー開催!

一般公開前に記念式典を行いました。来賓の皆さまのほか、青少年育成市町民会議の皆さま、プラネタリウム関係者の皆さま、みえこどもの城協力企業・団体の皆さま、当財団の理事・監事・評議員など総勢107名にご参加いただきました。

来賓の皆さまによる点灯式が行われ、プラネタリウムドームに満天の星を映し出しました。



点灯式の様子

来賓の皆さま

- 服部 浩 三重県副知事
- 竹上真人 松阪市長
- 辻村修一 玉城町長
- 野口 正 三重県議会議員
- 田中祐治 三重県議会議員
- 喜田健児 三重県議会議員



福田理事長あいさつ



服部副知事あいさつ

☆リニューアル記念商品☆



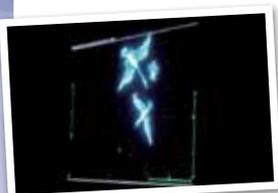
みえこどもの城限定パッケージ「宇宙パン」をミュージアムショップで販売中。

- ブルーベリー味、オレンジ味、
- ストロベリー味

プラネタリウム リニューアル工事期間中、大変ご迷惑をおかけしました

令和3年9月から令和4年4月22日まで、リニューアル工事のため上映を休止しました。休止期間中は、ひみつきちで天文工作を行いました。

月ごとに変わる工作メニューとプロジェクタースクリーンに映した今夜の星空の案内を、多くの方に楽しんでいただきました。



第16回クライミング選手権

令和4年2月20日(日)

普段の練習の成果を発揮する「クライミング選手権」。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら大会を開催しました。

新型コロナウイルスの影響で行事やイベントが中止になる中、「初めて大会に出場できました!」「やっと大会に出場できます!」といった声を聞きました。

運営協力

三重県山岳・スポーツクライミング連盟、KO-CLIMB

協賛

ガイドービバレッジサービス株式会社

後援 三重県



小学1,2年生対象 「トラバース低学年クラス」



小学3年生~中学生対象
「ボルダリング初級クラス」と「ボルダリング上級クラス」



「義村萌さんのクライミング教室」

ギョギョッと深海さかなつり!?

令和3年7月17日(土)~9月26日(日)

協力 鳥羽水族館

イベントホールに深海が! 『リュウグウノツカイ』『チョウチンアンコウ』など不思議な深海魚のイラストがいっぱいのプールで延べ3,108名の子どもが釣り遊びを楽しんでくれました!



鳥羽水族館監修の写真付きオリジナル深海魚小冊子も大好評!

「はぐくみ隊のかんたんレシピ2」ができました!

毎月第3日曜日にみえこどもの城「ひみつち」で開催している「はぐくみタイ夢」は、親子で一緒に楽しく学べる食育講座です。食育を通して子どもたちの成長を応援するボランティアグループ「はぐくみ隊」の皆さんが企画・運営をしてくださっており、毎回すぐに満員になってしまうほど好評のイベントです。

この「はぐくみタイ夢」で子どもと作った料理を紹介するレシピ集ができました。

みえこどもの城にて有償配布中です。ご家庭に一冊いかがですか?



1冊200円

三重県からの受託事業

三重県子ども条例施行10周年記念 デジタル絵本完成披露イベント

令和4年3月13日(日)

三重県子ども条例施行10周年を記念し、三重県が地元の作家さんと一緒にデジタル絵本「これからいっしょに」を作成しました。

完成披露イベントでは、児童文学作家の村上 しいこ先生、絵本作家のはっとり ひろき先生による絵本の読み聞かせ、デジタル絵本の原画展、フォトフレームづくりのワークショップが開催されました。

主催：三重県子ども・福祉部



「これから いっしょに」
文：村上 しいこ
絵：はっとり ひろき



第8回 キッズ☆おしごと広場

令和3年8月1日(日)、17日(火)、20日(金)

参加人数545名／協力企業・団体6件／参加企業・団体スタッフ19名／学生ボランティア22名

今年で8回目となる「キッズ☆おしごと広場」。今回は十分な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとり、体験参加方法をすべて事前申込としたうえで、開催日を分散し、1日あたり1～3企業・団体のおしごと体験を行いました。

参加した子どもからは、「楽しかった」「難しかったけどできて良かった」「またやりたい」といった声を多数聞くことができました。

参加企業・団体 ※五十音順・敬称略

イセツ株式会社、株式会社エスト、株式会社ボンタイム、松阪飯南森林組合&三重県松阪農林事務所、松阪ケーブルテレビ・ステーション株式会社、三重コニックス株式会社
学生ボランティア：高田短期大学

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、予定していた8企業・団体の体験を中止しました。
(中止した日:令和3年8月22日、9月5日、23日、25日、令和4年1月30日、2月5日、13日)

三重県子ども虐待防止啓発事業

オレンジリボンキャンペーン 大好きなキモチをつたえよう

令和3年11月2日(火)～30日(火)

参加人数1,000名／協賛企業・団体15件／協力企業・団体40件

9回目を迎えた今年度の「オレンジリボンキャンペーン」は、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、館内および館外を使って密を避けた企画を展開しました。

協賛企業・団体数も、昨年度より5件増え、ワードハンティングの参加賞としてたくさんの協賛品をご提供いただきました。

参加賞を受け取った子どもやその保護者からは、喜びの声が上がっていました。

パネル展示コーナー

三重県内の児童虐待に関する情報や子どもを守る組織や団体の紹介、啓発パンフレットを設置しました。

オレンジワードハンティング

期間中の土・日・祝日に実施。

オレンジメッセージ

「だいすきなキモチをつたえよう」をテーマに、メッセージを募集。大好きな人への思いのこもった素敵なメッセージが793枚集まりました。

ワードハンティングの参加者

啓発ポスター

オリジナルの啓発ポスター。協賛企業・団体や県内の児童館、図書館、公共施設などに配布しました。

参加企業・団体 ※五十音順・敬称略

主催：三重県、公益財団法人三重子どもわかもの育成財団
協賛：旭電気株式会社、宇野重工株式会社、株式会社エスト、株式会社三十三銀行、株式会社JPF松阪事業所、株式会社ジェントリー、スカイプラザ有限公司、日本土木工業株式会社、株式会社ボンタイム、松阪警察署、社会福祉法人まつさか福祉会お菓子工房M、公益社団法人三重県歯科医師会、特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会松阪支部、一般社団法人三重県助産師会、三重県松阪農林事務所

令和3年度 こども消費者教育事業

マネーの迷宮 ～お金の循環について考えよう～

令和3年10月9日(土)～11月23日(火・祝)

今年のお金展は一味違う！巨大迷路が登場☆
入口でマネーブックとプレゼントの鉛筆を受け取ったら、お金の循環についてのクイズを家族で解きながら迷路を探検。

延べ3,286名のご家族が体験してくれました！

主催：三重県消費生活センター
共催：三重県金融広報委員会



迷路の入口



道中のお買いものごっこコーナー

特別イベント

マネーの迷宮
オープニングイベント
令和3年10月9日(土)



お金セミナー
カレー作りゲーム
～材料を買いに行こう～
令和3年10月10日(日)



みえこどもの城 第4期指定管理（令和3年度～令和7年度）の新規事業

①こどもの主体性をはぐくむ事業

子どもが自由に意見をだしあい、イベントの運営に参画し、その意見を反映させる機会を提供することで子どもが自ら考え行動する力を育成支援しました。

「和太鼓5回講座+発表会」

令和3年6月5日(土)、19日(土)、7月3日(土)、17日(土)、31日(土)

GWに行った「和太鼓ワークショップ」でも講師を担当して頂いた和太鼓奏者 服部博之さんをお迎えして、5回の講座を行ったあと、8月7日(土)には参加した子どもの演奏発表会「キッズ和太鼓講座 発表会」を行いました。



「みえこどもの城キッズスタッフ」

令和4年1月22日(土)、2月5日(土)、26日(土)、3月20日(日)、26日(土)

参加する子どもが自らイベントを企画、準備、運営する「キッズスタッフ」を募集♪ 遊び、工作、マジックなど様々な体験をし、みえこどもの城のスタッフやボランティアさんからイベントづくりのノウハウを学び、自分たちがどのようなイベントを実施したいか一緒に考えました。



みえこどもの城キッズスタッフ特別イベント

「紙ひこうき飛ばし大会&けん玉ショー」

令和4年3月26日(土)

キッズスタッフの企画会議により、イベントは「紙ひこうき飛ばし大会&けん玉ショー」に決定。当日は市内の「キッズクラブひなた」の子どももけん玉ショーで参加してくれ、たくさんのお客さんが来場され、とてもにぎわいました! 来年度もキッズスタッフは継続して活動を行います。

キッズスタッフの今後の活躍にもご期待ください。



②わかもの社会参画応援事業

自分の力で未来を切り開くことのできる若者を育成支援するために、学生ボランティアやインターンシップの受入をはじめ、学生の発表の機会を提供しました。

また、県内企業の地域貢献活動に関する調査結果を受けて、企業が若者を支援できる機会をコーディネートしました。

学生ボランティアの受入 104人 インターンシップの受入 16人

高校生・大学生の企画事業

10月23日(土) ワゴムカーを作ろう(名古屋学芸大学プロダクトデザインコース)
10月30日(土) すずたんのおねえさんとあそぼう(鈴鹿大学短期大学部 みやざきゼミ)
11月20日(土) 皇學館大学はなまる学舎 in みえこどもの城(皇學館大学コーチング学研修室)
12月4日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日)
みんなあつまれ!たかたんあそびひろば(高田短期大学 子ども学科)
12月5日(日) 作って楽しい ものづくり教室(四日市工業高等学校 ものづくり創造専攻科)



ワゴムカーを作ろう



すずたんのおねえさんとあそぼう

「[シリーズ講座] 子どもプログラミング」

令和3年5月15日(土)、5月29日(土)、6月12日(土)

協力 株式会社サンエル、連合三重 金属部門連絡会、皇學館大学学生ボランティア

小学校で必須化となったプログラミングを遊びながら楽しく学んでもらおうとプログラミング教室を運営している株式会社サンエル様ご協力のもと、実施しました。

プログラミング教材「EmBot」は連合三重 金属部門連絡会議様から当財団に寄贈していただきました。シリーズ講座3日間を通して、皇學館大学の学生3名がボランティアとして参加しました。事前に企業からレクチャーを受けた学生が、本番は参加した子どものサポートに入りました。子どもには少し難しい工程も、学生ボランティアがサポートすることで、ともに考え、学び合いながらプログラムを完成させることができました。企業と学生が力を合わせ、子どもに体験の機会を提供する良いイベントとなりました。

③地域協創ネットワーク事業（移動児童館）

県内各地のさまざまな主体と協働

地域の様々な主体と協働し、地域とともに子どもを見守り育てるネットワークづくりを行いました。

みえこどもの城の地域拠点「サテライトくまの」「サテライトいなべ」とともに、今年度は活動範囲を広げ活動を行いました。

また、今年度から、こどもの城に来なくても同等の体験が受けられるように、こどもの城の講師やボランティアが地域に出向き「こどもの城出前事業（クラフト・陶芸）」を実施しました。



サテライトいなべ
「カプラあそび」



鈴鹿市放課後クラブで
「ぼかし絵バッグ」



サテライトくまの
「手作りステンドグラス」

令和3年度のみえこどもの城の改善活動について

みえこどもの城では、新型コロナウイルス感染防止の観点や皆様からいただいたご意見を参考に、様々な改善活動に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染防止対策（三重県施行分含む）

- 1 飛沫拡散防止対策としてトイレを洋式化しました。



- 2 プレイランドおよび、ひみつきち（多目的ホール）に空気清浄機を設置しました。



その他

（お客様からの声）

- 3 2階、3階女子トイレに子ども用トイレを設置しました。



（その他 施設の保安全管理・充実）

- 4 利用者へより良いサービスを提供するために施設改修等を行いました。



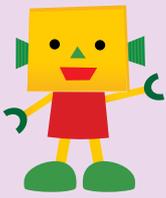
公園内の案内看板を改修しました
（3か所）



施設内の電波状況改善に取り組みました



新しい映像体験遊具を設置
（既存の遊具と連動可能）



令和3年度

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団決算報告書

貸借対照表

令和4年 3月31日現在

(単位:千円)

科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	46,200
2. 固定資産	383,055
(1) 基本財産	290,260
(2) 特定資産	90,590
(3) その他固定資産	2,205
資産合計	429,255
II 負債の部	
1. 流動負債	21,435
2. 固定負債	12,696
負債合計	34,131
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	358,979
(うち基本財産への充当額)	290,260
(うち特定資産への充当額)	68,719
2. 一般正味財産	36,145
(うち特定資産への充当額)	9,175
正味財産合計	395,124
負債及び正味財産合計	429,255

正味財産増減計算書

令和3年 4月 1日から令和4年 3月31日まで

(単位:千円)

科目	金額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	2,074
特定資産運用益	412
受託金	151,280
事業収益	10,772
その他収益	10,326
経常収益計	174,864
(2) 経常費用	
事業費	160,661
児童健全育成事業費	126,041
児童健全育成拠点事業費	12,498
青少年育成事業	12,909
三重県委託事業費	5,471
収益事業費	3,742
法人管理費	13,407
経常費用計	174,068
評価損益等調整前当期経常増減額	796
損益評価等計	0
当期経常増減額	796
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	11
当期経常外増減額	-11
当期一般正味財産増減額	785
一般正味財産期首残高	35,360
一般正味財産期末残高	36,145
II 指定正味財産増減の部	
一般正味財産への振替額	-9,411
当期指定正味財産増減額	-9,411
指定正味財産期首残高	368,390
指定正味財産期末残高	358,979
III 正味財産期末残高	395,124



公益財団法人三重こどもわかもの育成財団からのご協力をお願い

皆様からのご寄附により、公益財団法人三重こどもわかもの育成財団の活動が一層充実します。

当財団が実施している次世代の三重県を担う児童・青少年の育成に関する様々な事業は、事業収入及び三重県立みえこどもの城の指定管理料によって運営しています。個人・法人を問わず幅広い皆様からのご支援をいただくことにより、一層の事業の拡大・充実を図ることができます。

是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

寄附金の税の優遇措置

当財団は三重県知事から「公益財団法人」としての認定(平成24年4月1日移行)を受けています。

公益財団法人は税法上の「特定公益増進法人」に該当し、当財団が実施している公益目的事業を支援するために支出された寄附金については、税法上の優遇措置が受けられます。

(詳しくは、税務署にお尋ねになるか、国税庁のホームページ(<https://www.nta.go.jp/>)でご確認をお願いします。)

